

登録コード:MH253300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	薬理・栄養検査学【20M・21M】 Pharmacology and Trophic Dynamics		
担当教員	山内 一由		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	検査技術科学専攻/3年 後期(前半) 木曜・3時限 木曜・4時限		
単位数、講義室	1単位	保健学科222講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標
	MH20カリ・保健		
	生命を尊び、人間についての幅広い知識を身に付け、対象を全人的に理解して、人々の健康を支援することができる。		薬物・栄養素の体内動態の概要を理解する。
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		薬物・栄養素の臨床検査への影響を理解する。
授業で学べる「テーマ」	健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	本授業は、薬物動態学、薬物力学、栄養素の体内動態について教授し、臨床検査値から薬物の投与効果、副作用や栄養代謝異常の存在、薬物による測定干渉の有無を読み解く能力を涵養する。また、血中薬物の検出法や同定・定量法の原理と臨床的意義について理解する。 本授業では、1年次に学んだ「生化学」、「生理学」の知識を前提に、2年次の「病態化学検査学」および3年次前期の「脂質・酵素検査学」の内容と相補的に学び、4年次の臨床実習における重要な基礎知識を習得する。 本授業は、担当教員の医療機関における臨床検査技師の実務経験を生かした講義を行う。		
授業計画	第1,2回 (10月1日) 序論(臨床検査学と薬理学の接点)、薬物動態 第3,4回 (10月8日) 薬物に影響を与える諸因子 第5,6回 (10月15日) 薬理作用、薬物療法と臨床検査 第7,8回 (10月22日) 薬理学各論 第9,10回 (10月29日) 【中間試験】、栄養素と健康食品、食品と栄養 第11,12回 (11月5日) 食品と栄養、栄養管理と臨床検査 第13,14回 (11月12日) 薬物の相互作用、薬物と食物の相互作用 第15,16回 (11月19日) 【期末試験、授業アンケートの実施】		
授業の進め方	教科書とパワーポイントスライドを用いた講義を行います。授業では、既に学んだ臨床化学の知識が要求されるので、臨床化学の内容を含みます。		
テキスト、教材、参考書	【教科書】薬理学-疾病の成り立ちと回復の促進- (医学書院、2200) 臨床化学検査学(浦山修他編、医歯薬出版) 【参考書】健康食品学(加藤亮二責任編集:健康食品管理士認定協会) 臨床検査法提要35版(金井正光編、金原出版)		
成績評価の方法	中間試験と期末試験の結果に基づいて、総合的に成績を評価します。 総括的評価の配分は、中間試験を50%、期末試験を50%とし、総計の60%以上を合格とします。中間試験は第9回(10月29日)に筆記試験として実施します。中間試験では、主に薬物動態学、薬物力学、主な薬物の薬理作用についての理解度を確認します。期末試験では、主に薬物の副作用、血中薬物測定、栄養素の体内動態についての理解度を確認します。		
成績評価の基準	成績評価の判定基準は、下記の通りとする。 90-100点:秀 80-89点:優 70-79点:良 60-69点:可 なお、これらの採点の基準は、行動目標に関連した設問に対する選択式解答の正誤だけでなく、記述式解答における用語の適切さ、説明内容の範囲の広さや詳細さ、説明内容の論理的な妥当性等を指標とし、授業で説明した範囲における、最低限の解答内容であれば「水準にある」、やや詳細な解答内容であれば「やや上にある」、十分に詳細な解答内容であれば「かなり上にある」、授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学修した詳細な解答内容であれば「卓越している」と判定します。		
事前事後学習の内容	【事前学習について】 事前に配布する講義資料に基づき予習と関連項目の復習をする。 【事後学習について】 講義資料と講義ノートに基づき復習をする。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間(2時間×15回)+自己学習時間15時間(1時間×15回)=45時間		

事前事後学習の内容	* 以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。
学生へのメッセージ並びに質問 ，相談への対応	質問への対応：授業中および終了後にて受け付けるほか、E-mailでも受け付けます。 オフィスアワー：随時（要事前連絡） 山内 一由 yamauchi@shinshu-u.ac.jp